

## 序

経済同友会は、この春、創立三十年を迎えた。人の一世代である。

三十年という歳月は、国の長い歴史からみれば一瞬時にすぎないであろう。

しかし、日本の戦後と共に歩いたわが経済同友会の三十年は、混乱の中に将来の道を模索し、よりよき経済社会の建設を目指した“長い道のり”であった。また変転きわまりない内外情勢の下で問題を先見的に捉え、真摯に討議し、その対応策を見出し、実践する態度を貫き続けた“かけがえのない日々の積み重ねによる三十年”であったと言っても過言ではない。

いまここに経済同友会創立三十年を期し、『年史』を編纂することを通じて、会の発展に多大な尽力をされた諸先輩の貴重な歴史の跡を辿ることは、今後、われわれが進むべき方向を展望し、かつ新たな責務を遂げて行く上に、意義深いものである。

経済同友会に集う同志諸君が、ここに刻まれた先人の気概に満ちた前進への記録を礎にして、これから生起するであろう内外の政治・経済・社会にわたる諸問題を冷徹に洞察し、人間の尊厳を保ちつつ、その可能性を切り拓く新しい経済社会の構築に向けて、さらに切磋琢磨を重ねられることを願うものである。

なお末尾ながら、『経済同友会十年史』ならびに『十五年史』に引続き、今回、三たび『三十年史』の執筆を煩わした羽間乙彦氏に深甚の謝意を表する次第である。

昭和五十一年十一月

代表幹事 佐々木 直

歷代代表幹事



大塚 萬 丈

(昭和22年度)



諸井 貫 一

(昭和21年度)



永野 重 雄

(昭和23-24年度)



堀 田 庄 三

(昭和22年度)



浅尾新甫  
(昭和25年度)



工藤昭四郎  
(昭和23~26年度  
27~30~31年度)



東海林武雄  
(昭和27~29年度)



藤山愛一郎  
(昭和26年度)



岸 道 三

(昭和30~32年度)



山 際 正 道

(昭和27~29年度)



井 上 英 熙

(昭和33~34年度)



中 山 素 平

(昭和32~33年度)



水 上 達 三  
(昭和36～37年度)



岩 佐 凱 實  
(昭和34～35年度)



木 川 田 一 隆  
(昭和35～36年度)  
(38～49年度)



二 宮 善 基  
(昭和37年度)



佐々木 直  
(昭和50年度一現)



—— 常任幹事 ——



山下 静一

32年度より常任幹事、42年度より名称変更により専務理事



郷 司 浩 平

創立時(21-22年度)・当番幹事  
23年度常任幹事制により31年度まで常任幹事